

## 「おのみち100km徒歩の旅」と出逢って

私は、第4回、第5回、第6回と「おのみち100km徒歩の旅」に関わらせて頂きました。初めての出逢いは大学2年の時でした。大学生活にも慣れてきて、「部活やバイト以外にも何かしたい。」と考えていた時に先輩に声をかけて頂きました。今、考えると「おのみち100km徒歩の旅」に誘って頂いた先輩との出逢いは、偶然ではなくて必然だったのではないかと考えます。

「おのみち100km徒歩の旅」に参加して、意識の高い学生とコミュニケーションをし、触れ合う事で自分の腹の底にあった何かに火が着きました。その火は「おのみち100km徒歩の旅」を修了した今でも燃え続けています。そして、これからもその火を大きくしていきたいと考えています。

ここには書ききれない程たくさんの事を「おのみち100km徒歩の旅」から学ばせて頂きました。たくさんありすぎて何を書こうかものすごく悩んだのですが、ここでは「失敗をする」、「情熱」という二点を紹介させていただきます。

まず一点目は、「失敗する」という事です。私は数え切れない程の失敗を「おのみち100km徒歩の旅」でしてきました。昔の自分なら失敗する度に落ち込んでいました。その上、落ち込む期間は無駄に長かったです。しかし、「おのみち100km徒歩の旅」を経験して、失敗は自分自身が成長するためのツールだと考えられるようになりました。

二点目は、「情熱」です。私がどうして「おのみち100km徒歩の旅」に関わり続けるのかと考えた時に、この言葉が出てきました。それは、柿本団長、先輩方、同年代の仲間達、後輩達をはじめ、「おのみち100km徒歩の旅」で関わって頂いた、私の周りにいてくれた方々が「情熱」を持ち、キラキラと輝いていらっしゃいました。周りにいてくれた人達のように自分もキラキラしたい。と考えたので「おのみち100km徒歩の旅」に関わり続けた自分がいるのだと考えます。「情熱」はごまかせません。私の周りの方々は、本当の意味で「情熱」を持っていたからこそ、今の自分がいるのだと言い切れず。私も将来は、そんな立派な人になりたいと考えます。

私は四月から社会人になります。「おのみち100km徒歩の旅」に関わらせて頂いた事によって学べた事を、社会人になって活かさないという事は、私に成長の機会を与えて下さった全ての人に対する裏切りです。だから、与えられた環境で自分のベストを尽くせるように考動し続けたいと考えています。

最後に、「おのみち100km徒歩の旅」で私に出逢って頂き、成長の機会を与えて下さった全ての方に心からお礼を申し上げます。そして、いつまでもこの事業が成功・発展し続け、一人でも多くの子どもの将来の笑顔が増えていく事を心から祈っています。